

# R4 年度長崎版地域包括ケアシステム推進における地域意見交換会実施報告書②

共催：長崎市医師会・長崎市

- 目的** ①医療・介護の専門職における長崎版地域包括ケアシステムの理解促進  
②顔の見える関係づくり・多職種連携強化

**対象者** 医療・介護等専門職のうち多職種チーム化に登録いただいている方  
(医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・栄養士・主任ケアマネジャー・  
地域包括支援センター・在宅支援リハビリセンター・包括ケアまちなかラウンジ・市職員)

## 開催日時等

| 日時                           | 会場               | 対象地域包括支援センターエリア |
|------------------------------|------------------|-----------------|
| ③R5 年 2 月 22 日(水)19:00～20:30 | ブリックホール<br>国際会議場 | 淵/小江原・式見/西部     |
| ④R5 年 3 月 15 日(水)19:00～20:30 | 琴海南部文化センター       | 琴海/三重・外海        |

※他地域包括支援センターエリアにおいては、R5 年度(4 回)開催予定

## 内容

- 開会挨拶
- 講話

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| (1)元気なうちから手帳について      | 長崎市福祉部次長 渋谷 浩司  |
| (2)長崎市医師会版 わたしの思いについて | 長崎市医師会 理事 土屋 知洋 |
| (3)ACP について～救急医の立場から  | 長崎市医師会 理事 早川 航一 |
| (4)救急現場における DNAR 対応   | 長崎市消防局          |

- 意見交換会

テーマ 「ACP について自身の立場でどのようなことに取り組んでいるのか」  
～工夫していること・難しいと感じること・悩み・事例など～

## 参加者数

(人)

|              | R5 年 2 月 22 日<br>ブリックホール国際会議場 | R5 年 3 月 15 日<br>琴海南部文化センター |
|--------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 医師           | 12                            | 6                           |
| 歯科医師         | 5                             | 1                           |
| 薬剤師          | 3                             | 2                           |
| 訪問看護師        | 2                             | 1                           |
| 管理栄養士        | 1                             | 0                           |
| 主任ケアマネジャー    | 3                             | 3                           |
| 在宅支援リハビリセンター | 4                             | 2                           |
| 包括ケアまちなかラウンジ | 4                             | 2                           |
| 地域包括支援センター   | 6                             | 2                           |
| 医師会事務局       | 4                             | 2                           |
| 行政           | 12                            | 9                           |
| 計            | 56                            | 30                          |

## 意見交換でのご意見(一部抜粋)

テーマ 「ACPについて自身の立場でどのようなことに取り組んでいるのか」

～工夫していること・難しいと感じること・悩み・事例など～

### ACPについて

- ・高齢独居またはどちらか認知症の方の対応が難しい(医師)
- ・若年性アルツハイマーの方を担当し、年齢関係なく ACP について考える必要があると感じた。(言語聴覚士)
- ・ACP について、医療面がメインになっていると感じており、ケアマネとして本人と多職種をつなぐ役割ができれば良いと思う。(ケアマネ)
- ・ケア会議の中でも ACP について話しをしていけたら良い。(ケアマネ)
- ・信頼関係が大事。(医師)
- ・地域で考える機会を増やしてほしい。(医師)
- ・若いうちから知っておくことが重要。(薬剤師)
- ・切り出すタイミングは難しいが見逃さずに切り出す必要がある。(まちななかラウンジ)
- ・多職種は誰でも本人の思いをつないでいく必要がある。(まちななかラウンジ)

### 元気なうちから手帳について

- ・もっと気軽に元気なうちから手帳を渡せるようになったら良いのではないかと。(ケアマネ)
- ・退院前に手帳を渡してほしい。退院前カンファレンスを活用しACPの共有をしたらどうか。(医師)
- ・訪問診療の契約時に「元気なうちから手帳」を渡すようにしている。(医師)
- ・退院のタイミングが手帳を渡したり伝えたりしやすいのではないかと。(多職種)
- ・手帳にふれる機会を増やした方が良い。まずは手にとることが大切。(多職種)
- ・小さいリーフレットがあっても良いのではないかと。(多職種)
- ・手帳を書かなくても日頃から話をしてもらうことが大切。(多職種)
- ・担当ケアマネと手帳を渡すタイミングについて話し合っている。(包括)
- ・手帳は書き直しできるがそのタイミングが難しい(医師)
- ・書き直しする際は、書く色を変えると何回目を書いたものかがわかりやすい。(医師)
- ・元気なうちから手帳を病院の窓口において興味のある方に話をしていくのはどうか。(医師)
- ・事業所のケアマネは全員所持しており頻繁に包括にもらい活用している。(ケアマネ)
- ・手帳を渡して一番受け入れが良かったのは終活を自分のこととして考えられている方。(ケアマネ)
- ・長崎市が作成していると言うと受け入れが良い。(包括)
- ・延命治療についてわかりやすく書いてあるので説明のためサラッと渡すこともある。(ケアマネ)
- ・常時持ち歩きながら訪問し、マネジメントをする中で必要時に渡している。(ケアマネ)
- ・元気なうちから手帳を使うことは絶対ではなく、ひとつのツールである。(包括)



### 情報共有について

- ・多職種で共有することも大切。(多職種)
- ・考え方が変わることは多い。その都度情報提供に努めるようにしている。(まちななかラウンジ)

< 意見交換の様子 >

